

令和元年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会 富山県予選会 戦評

2019年 11月10日(日)		会場：富山県西部体育センター													
女子 試合No. 特1		決勝戦													
勝ちチーム <b>高岡第一</b>	84	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>6</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>28</td><td>-</td><td>29</td></tr> </table>	25	-	17	6	-	20	25	-	12	28	-	29	78 負チーム <b>龍谷富山</b>
25	-	17													
6	-	20													
25	-	12													
28	-	29													
<b>戦 評</b>															
<p>昨年度と同じ、高岡第一と龍谷富山の対戦となった。第1Q、高岡第一、開始すぐに⑦の3Pで得点し、オールコートマンツーマンDFでプレッシャーをかける。パスカットしたのち⑤のポストプレイ等で開始2分10-1と点差をつける。龍谷富山はT0をとり、落ち着きを取り戻す。④の1on1や⑬のゴール下で、得点を重ね、最大14点差から8点差まで詰め寄り、25-17。第2Q、龍谷富山は高岡第一のオールコートマンツーマンDFに対して、速いドリブルで運び、合わせのプレイで開始3分に25-25と追いつく。高岡第一は⑤、⑧のリバウンドシュートでファウルをもらい、流れをつかもうとするが、シュートを決めきれず、31-37と龍谷富山に逆転をゆるす。第3Q、高岡第一は変わらずオールコートマンツーマンDF。パスカットから⑤、⑧の得点。さらには⑧のバスケットカウントで3点プレイにより、開始2分30秒で38-37とあつという間に再逆転する。龍谷富山は⑧の3P、⑩、⑬のリバウンドシュートで得点するが、高岡第一の④、⑥の3Pが要所で決まり、じわじわと点差を離す。高岡第一56-49で7点リードとする。第4Q、龍谷富山はゾーンDFに切り替え、相手のリズムを崩し、④の1on1での連続得点により点差を3点に縮める。高岡第一は龍谷富山のDFに対して冷静にパスをつないで⑥の3P、⑤のポストプレイで得点し逆転を許さない。龍谷富山はT0をとり、オールコートマンツーマンDFに切り替え、必死にボールを追いかける。さらには④を中心に攻め、⑩のドライブで懸命に食らいつくが、最終スコア84-78で高岡第一が逃げ切り、2年連続7回目の優勝を勝ち取った。</p>															
記録者：山崎 竜之介		所 属：富山県高体連専門部													
主 審：河辺 真由美		副 審：山本 達也													
副 審：板井 巖															